

3. 財務の概要

※各計算書及び一覧表において、単位未満を四捨五入しているため、合計などに差異が生じる場合があります。

(1)2022 年度決算の概要

①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応するすべての資金の収入および支出の内容と、当該会計年度における支払資金(現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金)の収入及び支出についてその顛末を明らかにし、資金の使途や残高状況を表したものです。

収入の部		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	35,325	35,355	△ 29	
手数料収入	2,164	2,134	30	
寄付金収入	256	317	△ 61	
補助金収入	5,356	5,763	△ 407	
資産売却収入	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	1,281	1,234	46	
受取利息・配当金収入	414	436	△ 21	
雑収入	517	759	△ 242	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	7,294	8,561	△ 1,267	
その他の収入	10,090	10,664	△ 573	
資金収入調整勘定	△ 8,130	△ 9,025	895	
前年度繰越支払資金	30,300	30,300	0	
収入の部合計	84,867	86,497	△ 1,630	

支出の部		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	21,778	21,597	180	
教育研究経費支出	13,578	12,557	1,020	
管理経費支出	1,874	1,684	190	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	10,447	10,060	387	
設備関係支出	3,476	3,285	190	
資産運用支出	1,141	1,755	△ 613	
その他の支出	1,647	2,580	△ 933	
[予備費]	(0)		600	
	600			
資金支出調整勘定	△ 326	△ 2,797	2,471	
翌年度繰越支払資金	30,653	35,775	△ 5,123	
支出の部合計	84,867	86,497	△ 1,630	

※ 差異の△表示は、決算額が予算額を超過していることを表します。

【収入の状況】

収入の部の合計 864 億 9,700 万円から前年度繰越支払資金 303 億円を除いた当年度の資金収入は 561 億 9,700 万円となりました。

学生生徒等から納付いただいた入学金や授業料等の学生生徒等納付金収入は 353 億 5,500 万円となり予算比で 2,900 万円の増加、入学検定料収入を中心とする手数料収入は、21 億 3,400 万円となり予算比で 3,000 万円の減少、私立大学等経常費補助金や国際化拠点事業費補助金(SGU)、附属校等の私立学校経常費補助金等の補助金収入が 57 億 6,300 万円となり予算比で 4 億 700 万円の増加となっています。

その他、予算での見込みより、付随事業・収益事業収入が 4,600 万円減少しましたが、寄付金収入が 6,100 万円、受取利息・配当金収入が 2,100 万円、雑収入が 2 億 4,200 万円、それぞれ増加しました。

【支出の状況】

支出の部の合計 864 億 9,700 万円から翌年度繰越支払資金を除いた当年度の資金支出は 507 億 2,200 万円となりました。

人件費支出が 215 億 9,700 万円となり、教員の未補充等により予算比で 1 億 8,000 万円の減少、教育研究経費支出は、125 億 5,700 万円となり予算比で 10 億 2,000 万円の減少、管理経費支出が 16 億 8,400 万円となり予算比で 1 億 9,000 万円の減少、施設関係支出が 100 億 6,000 万円となり予算比で 3 億 8,700 万円の減少、設備関係支出が 32 億 8,500 万円となり予算比で 1 億 9,000 万円の減少となりました。その他、資産運用支出が 17 億 5,500 万円で退職給与引当特定資産繰入支出の増加により予算を上回りました。

この結果、翌年度繰越支払資金は 357 億 7,500 万円となりました。

3. 財務の概要

(1) 2022 年度決算の概要

②活動区分資金収支計算書の状況

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に近いもので、資金収支計算書を「教育活動」、「施設設備等活動」、「その他の活動」の3つの区分に分けて、活動区分ごとの収支構造を明らかにしたものです。

教育活動による資金収支		(単位:百万円)	その他の活動による資金収支		(単位:百万円)
収入	科目	金額	収入	科目	金額
収入	学生生徒等納付金収入	35,355	収入	退職給与引当特定資産取崩収入	323
	手数料収入	2,134		奨学事業引当特定資産取崩収入	17
	特別寄付金収入	293		貸付金回収収入	3
	一般寄付金収入	19		預り金受入収入	421
	経常費等補助金収入	5,688		差入保証金回収収入	4
	付随事業収入	1,234		修学旅行費預り資産取崩収入	274
	雑収入	570		立替金回収収入	76
	教育活動資金収入計	45,292		修学旅行費預り金収入	18
支出	人件費支出	21,597		その他の収入	253
	教育研究経費支出	12,557		小計	1,388
	管理経費支出	1,671		受取利息・配当金収入	436
	教育活動資金支出計	35,825		過年度修正収入	7
差引		9,467		為替差益	182
調整勘定等		1,071		その他の活動資金収入計	2,012
教育活動資金収支差額		10,538	支出	退職給与引当特定資産繰入支出	715
				貸付金支払支出	3
				預り金支払支出	456
				出資金支出	0
				差入保証金支出	1
				修学旅行費預り資産繰入支出	262
				立替金支払支出	40
				修学旅行費預り金支出	29
				その他の支出	219
				小計	1,726
				過年度修正支出	1
				為替差損	13
				その他の活動資金支出計	1,739
			差引		273
			調整勘定等		△ 5
			その他の活動資金収支差額		268
			支払資金の増減額		
			(小計+その他の活動資金収支差額)		5,476
			前年度繰越支払資金		30,300
			翌年度繰越支払資金		35,775

本業である教育活動による資金収支は、105億3,800万円のプラス(収入超過)となりました。

施設整備等活動による資金収支は、53億3,100万円のマイナス(支出超過)となりました。施設関係支出の主なもの、赤羽台キャンパス新校舎 HELSPO HUB-3 建築工事、朝霞キャンパスの新校舎、運動合宿所及び新弓道場建築工事のほか、大学の電気設備や空調機の更新工事、附属姫路中学高等学校の運動施設建築工事等の支出です。設備関係支出の主なもの、赤羽台キャンパス新校舎 HELSPO HUB-3 の教室什器、実験機器や運動器具のほか、教育・研究のための機器備品、情報関係機器更新等の支出です。赤羽台キャンパス新校舎 HELSPO HUB-3 建築工事に伴い、第2号基本金引当特定資産から50億円、建設準備引当特定資産から30億円の取り崩しを行い、老朽化建物の大規模修繕や建物の将来の建て替えの備えとして、減価償却引当特定資産に10億4,000万円を繰り入れました。

教育活動と施設整備等活動を合わせた資金収支差額は、52億800万円のプラスとなりました。

その他の活動による資金収支は、2億6,800万円のプラスとなり、この結果、翌年度への繰越支払資金は、54億7,600万円増加し、357億7,500円となりました。

3. 財務の概要

(1) 2022 年度決算の概要

③事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入及び事業活動支出を、本業である教育研究活動の収支を示す「教育活動収支」と、教育研究活動以外の活動(主に財務活動)の収支を示す「教育活動外収支」、資産売却や資産処分等の臨時的な収支を示す「特別収支」に区分し、その内容を示すとともに、基本金に組み入れる額を控除したすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにし、経営状態の健全性を表したものです。

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	35,325	35,355	△ 29
手数料	2,164	2,134	30
寄付金	253	329	△ 76
経常費等補助金	5,273	5,688	△ 415
付随事業収入	1,281	1,234	46
雑収入	517	570	△ 53
教育活動収入計	44,813	45,311	△ 498
事業活動支出の部			
人件費	21,935	21,726	209
教育研究経費	19,048	18,049	998
管理経費	1,915	1,711	203
教育活動支出計	42,897	41,487	1,410
教育活動収支差額	1,916	3,824	△ 1,908

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	414	436	△ 21
その他の教育活動外収入	0	182	△ 182
教育活動外収入計	414	618	△ 203
事業活動支出の部			
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	13	△ 13
教育活動外支出計	0	13	△ 13
教育活動外収支差額	414	605	△ 191
経常収支差額	2,330	4,429	△ 2,099

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	85	147	△ 61
特別収入計	85	147	△ 61
事業活動支出の部			
資産処分差額	258	356	△ 98
その他の特別支出	0	3	△ 3
特別支出計	258	359	△ 101
特別収支差額	△ 173	△ 213	40

[予備費]	(0)		600
基本金組入前当年度収支差額	1,557	4,217	△ 2,659
基本金組入額合計	△ 8,623	△ 5,987	△ 2,636
当年度収支差額	△ 7,065	△ 1,770	△ 5,295
前年度繰越収支差額	△ 38,873	△ 38,873	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 45,939	△ 40,643	△ 5,295

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	45,313	46,075	△ 763
事業活動支出計	43,755	41,858	1,897

※ 差異の△表示は、決算額が予算額を超過していることを表します。

【収入の状況】

当年度の事業活動収入の合計は 460 億 7,500 万円で、教育活動収支の主な収入項目としては、学生生徒等納付金が前年度より 7,600 万円増加し 353 億 5,500 万円に、入学検定料などの手数料が大学の志願者数が減少したことにより前年度より 1 億 6,600 万円減少し 21 億 3,400 万円に、施設設備以外の特別寄付金や一般寄付金、現物寄付などの寄付金が前年度より 4,000 万円増加し 3 億 2,900 万円に、経常費等補助金が前年度より 1 億 8,300 万円増加し 56 億 8,800 万円になりました。

教育活動外収支では、受取利息・配当金が前年度より 2 億 8,800 万円減少し 4 億 3,600 万円に、その他の教育活動外収入では為替差益が 1 億 8,200 万円発生しました。

特別収支では施設設備に係る寄付金や現物寄付、施設設備補助金などのその他の特別収入が前年度より 3,600 万円増加し 1 億 4,700 万円になりました。

【支出の状況】

当年度の事業活動支出の合計は 418 億 5,800 万円で、教育活動収支の主な支出項目としては、人件費が前年度より 1 億 2,100 万円減少し 217 億 2,600 万円に、教育研究経費が前年度より 7 億 9,100 万円増加し 180 億 4,900 万円に、管理経費が前年度より 1,600 万円増加し 17 億 1,100 万円となりました。なお、全体のうち 55 億 1,300 万円は減価償却額になります。

【収支差額の状況】

教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年度より 8 億 3,700 万円減少し 44 億 2,900 万円で、さらに特別収支差額の 2 億 1,300 万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より 7,400 万円増加し 42 億 1,700 万円となりました。基本金組入額を差し引いた当年度収支差額はマイナスの 17 億 7,000 万円で、翌年度繰越収支差額はマイナス 406 億 4,300 万円(支出超過)となりました。

3. 財務の概要

(1) 2022 年度決算の概要

④ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、一定時点(決算日、3月末現在)における資産、負債、純資産の財政状態を表したものです。

資産の部 (単位:百万円)				負債の部 (単位:百万円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	223,747	222,766	981	固定負債	9,095	8,984	111
有形固定資産	177,966	170,582	7,384	退職給与引当金	9,095	8,967	129
土地	59,373	59,373	0	長期未払金	0	18	△ 18
建物	88,908	78,878	10,030	流動負債	12,033	10,363	1,671
構築物	5,520	5,191	329	未払金	2,489	1,203	1,286
教育研究用機器備品	6,945	5,422	1,523	前受金	8,561	8,130	431
管理用機器備品	107	77	30	預り金	721	756	△ 35
図書	8,214	8,300	△ 86	修学旅行費預り金	262	274	△ 12
車輛	1	2	△ 1	負債の部合計	21,129	19,347	1,782
建設仮勘定	8,898	13,339	△ 4,441				
特定資産	44,918	51,502	△ 6,585				
第2号基本金引当特定資産	0	5,000	△ 5,000				
第3号基本金引当特定資産	11,467	11,467	0				
減価償却引当特定資産	22,879	21,839	1,040				
退職給与引当特定資産	3,847	3,455	392				
建設準備引当特定資産	6,090	9,090	△ 3,000				
井上円了哲学塾引当特定資産	160	160	0				
奨学事業引当特定資産	433	449	△ 17				
幼稚園園舎改築引当特定資産	42	42	0				
その他の固定資産	863	681	182				
借地権	55	55	0				
施設利用権	1	1	△ 0				
商標権	0	1	△ 1				
ソフトウェア	669	519	150				
出資金	32	32	0				
未収入金	13	15	△ 2				
有価証券	20	20	0				
前払金	40	2	38				
差入保証金	27	29	△ 2				
長期貸付金	6	6	△ 0				
預託金	0	0	0				
流動資産	37,495	32,477	5,018				
現金預金	35,775	30,300	5,476				
未収入金	907	1,286	△ 378				
前払金	328	326	2				
修学旅行費預り資産	262	274	△ 12				
立替金	2	38	△ 36				
その他の流動資産	219	253	△ 34				
資産の部合計	261,242	255,243	5,999				

純資産の部 (単位:百万円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	280,756	274,769	5,987
第1号基本金	266,795	255,808	10,987
第2号基本金	0	5,000	△ 5,000
第3号基本金	11,467	11,467	0
第4号基本金	2,494	2,494	0
繰越収支差額	△ 40,643	△ 38,873	△ 1,770
翌年度繰越収支差額	△ 40,643	△ 38,873	△ 1,770
純資産の部合計	240,113	235,896	4,217

負債及び純資産の部合計			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	261,242	255,243	5,999

【資産の状況】

2022年度末の資産総額は、2,612億4,200万円で前年度末に比べ59億9,900万円増加しました。固定資産は、2,237億4,700万円となり、うち有形固定資産については、建物が大学の赤羽台キャンパスに新校舎 HELSPO HUB-3 建築や朝霞キャンパスに新弓道場建築、附属姫路中学高等学校で運動施設建築に伴い増加した一方で、朝霞キャンパスで新弓道場建築に伴い既存弓道場を解体したことによる減少のほか、赤羽台キャンパス新校舎 HELSPO HUB-3 の教室や図書館の什器、実験機器、運動器具といった教育研究用機

器備品が増加したことなどにより、前年度末に比べ合計で73億8,400万円増加し、1,779億6,600万円となりました。特定資産は、赤羽台キャンパス新校舎建築工事費用の一部として第2号基本金引当特定資産を50億円、建設準備引当特定資産を30億円それぞれ取り崩したことのほか、減価償却引当特定資産は、大学で10億円、附属牛久中学高等学校で4,000万円を組み入れたことで10億4,000万円の増加したことなどにより、前年度末に比べ合計で65億8,500万円減少の449億1,800万円となりました。その他の固定資産は、前年度末に比べ1億8,200万円増加し8億6,300万円に、流動資産は現金預金が54億7,600万円増加した一方で、未収入金が3億7,800万円、立替金が3,600万円減少したことなどにより、前年度末に比べ合計で50億1,800万円増加し374億9,500万円となりました。

【負債の状況】

負債総額は211億2,900万円で前年度末に比べ17億8,200万円増加しました。固定負債は退職給与引当金が1億2,900万円増加したことにより90億9,500万円に、流動負債は未払金が12億8,600万円、前受金が4億3,100万円増加したことなどにより、前年度末に比べ合計で16億7,100万円増加し120億3,300万円となりました。

【基本金の状況】

基本金は前年度末に比べ59億8,700万円増加して2,807億5,600万円となりました。このうち第1号基本金は赤羽台キャンパス新校舎 HELSPO HUB-3 建築工事や朝霞キャンパス新弓道場建築工事に係る組み入れや、施設の改修、機器備品など施設設備充実による取得などにより、前年度末に比べ109億8,700万円増加し2,667億9,500万円となりました。

【収支差額の状況】

資産総額2,612億4,200万円に対して、負債総額が211億2,900万円になったため、純資産は前年度末に比べ42億1,700万円増加し2,401億1,300万円となり、基本金が2,807億5,600万円であることから、繰越収支差額はマイナス406億4,300万円となりました。なお、今年度末における減価償却累計額の合計は900億9,800万円、基本金の未組入額は14億8,900万円となりました。